

仕様書

豊見城市の西部に位置する瀬長島では、平成 25 年 2 月に策定された「瀬長島観光拠点整備計画」に基づき、魅力的な観光拠点として発展しております。一方で、来島者の大幅な増加によって、島内の交通課題などの新たな問題も発生していることから、観光拠点としての機能強化を目指し、令和 6 年 11 月に「瀬長島観光拠点機能強化計画書」を策定したところである。

「(仮称) 瀬長島モビリティゲート整備及び再エネ使用周回バス運行可能性調査検討業務」では、内閣府の「民間資金等活用事業調査費補助金」を活用し、上記計画の具体的な機能強化ストーリー（施策）の一つである「①新たな集約駐車場の整備」、「②野球場・駐車場の新たな活用」、「③島内交通体系の再編」について、駐車場整備及び島内交通の導入前に、導入の可能性、対象事業の範囲、官民のリスク分担などを検討する導入可能性調査を行い、民間事業者のノウハウを活かし、島内の交通課題等を解消することを目的とします。

1 駐車場整備・バス運行水準の検討

集約駐車場の整備概要（駐車台数や施設配置計画など）、交通ターミナル及び島内交通体系の再編となる EV バス等を前提とした島内周回バスの運行概要（運行ルート、運行本数など）を検討する。

2 民間事業者へのヒアリング調査

民間事業者へ集約駐車場及び交通ターミナルの整備等を踏まえた島内周回バスの運行に対するヒアリングを実施する。

3 事業スキームの検討

事業方式及び事業範囲、事業期間などを検討する。併せて、PPP/PFI 等の民間活力導入の実施体制について検討を行い、VFM による財政削減効果等の評価を行う。

4 エネルギー需要の把握

導入バス等の種類、台数及び稼働想定などからエネルギー需要を把握する。

5 再エネ供給ポテンシャルの把握

集約駐車場付近やその他島内敷地において、エネルギー供給システムの可能性を検討し、エネルギーの供給ポテンシャルを把握する。

6 再エネ供給スキームの検討

島内での再エネ自己供給の可能性を検討する。

7 事業化に向けた課題整理

集約駐車場及び交通ターミナルの整備、島内周回バス事業及び再生可能エネルギー活用での事業化に向けた課題を整理する。併せて、集約駐車場の整備及び島内交通の導入が、地域経済・社会へどのような効果をもたらすのか、多様な効果を評価する指標について検討する。また、社会情勢等の変化による物価変動リスクに対応した指標の選定や対応を検討する。

8 庁内委員会

庁内委員会3回を基本とし、適宜必要に応じて開催する。

9 計画書作成

1から8までの検討をとりまとめ、計画書を作成する。

10 打合せ協議

本業務が円滑に実施されるよう業務着手時、中間、成果品納入前の1回を基本とし、適宜必要に応じて協議を行う。

11 成果品

- (1) 計画書 (A4 サイズ、製本、50 ページ程度を想定)
- (2) 報告書 (A4 サイズ、ドッチファイル、幅 10cm 程度)
- (3) 上記電子データ
※編集可能なデータ及び文字検索が可能な PDF データを含む。
- (4) その他調査員が必要と認めるもの

【別紙】

内訳書			
種別	細別	単位	数量
直接人件費			
1	駐車場の整備・バス運行水準の検討	式	1
2	民間事業者へのヒアリング調査	式	1
3	事業スキームの検討	式	1
4	エネルギー需要の把握	式	1
5	再エネ供給ポテンシャルの把握	式	1
6	再エネ供給スキームの検討	式	1
7	事業化に向けた課題整理	式	1
8	庁内委員会	式	1
9	計画書作成	式	1
10	打合せ協議	式	1
直接経費			
成果品印刷費等			
1	印刷製本費	部	2
2	電子データ	式	1